THE PAUL TIMES

WEDNESDAY SEPTEMBER 6 2018

ついに発売！『エジプト・ステーション』がやって来るヤァ！ヤァ！ヤァ！

ポール、何度目かの全盛期またもや到来としか言いようのない傑作
(rockin'on)

ポール・マッカートニーは彼のソングブックに
新しい宝石を加え続けている。
それはポールにしかできないことだ。
そして、彼は今でも地上で最も素晴らしいライヴ・パフォーマーだ。
(Rolling Stone)

これらの新しく忘れがたいメロディは、
ポール・マッカートニーのソングライティングの本質が
変わらずにいることを証明している。
(仏Les Inrockuptibles)

最高のロック・レジェンド 5年ぶりのニュー・アルバム！
2000年代の最高傑作といえる強力作！
『エジプト・ステーション』

2018 9/7発売

CD: UICC-10040 / ¥2,600(税抜)+税　2LP [直輸入盤仕様]: UIJC-90001/2 / ¥7,800(税抜)+税
2LP [カラーLP] [直輸入盤仕様] [Universal Music Store限定商品]: PDJI-1041/2 / ¥8,600(税抜)+税

From リバプール to エジプト・ステーション
(ポールゆかりの地探訪)

第5回 エジプト

今回のアルバム・タイトルは『エジプト・ステーション』だが、これはジャケットにもなっている同名のポールの絵画から取られたもの。1999年、ドイツで行われた個展『ポール・マッカートニー・ペインティングス』で初めて公開された。エジプトで『ビートル』とは神の使いだという。エジプト・ステーションという架空の駅はポールがやって来た場所であり、還る場所なのかもしれない。

ポールの新作に向けてコメントを頂きました！

オープニングの喧騒から僕たちは列車に乗り込み旅に出かける。Egypt Stationはまさにアルバムのトータリティーを意識して制作されたものだ。それはかつてSgt.Pepper' sのコンサートに誘われたあの感覚に似ている。つまりトータル・アルバムはポールが考案したものだ。1967年、僕はアルバムの聴き方を学び、2018年、再びポールはそのことを思い出させてくれた。やはりフルサイズで聴いてこそ作品。アルバムって素晴らしいね。今度の日本公演では全曲聴かせて欲しい。

(株)オフィス オーガスタ最高顧問　森川欣信

ニュー・アルバム「エジプト・ステーション」の聴きどころ

★プロデューサーについて★

アルバムのメイン・プロデューサーはグレッグ・カースティン。昨年度はアデルのアルバム『25』や曲「ハロー」などでグラミー賞四冠に輝いており、ポールは「流行を追いかけていると思われたら嫌だな」と思ったが、カースティンは大のビートルズ・ファンであった。よって、ポールはニュー・アルバムの収録曲のアレンジや方向性を伝える際に、共通言語としてビートルズの楽曲を持ち出すことが多かったという。カースティンは今回のアルバムで「ポールは自身のソングライティングの限界に挑戦しようとしていた」と明かしている。

これだけは押さえておきたい！ ポール半端ない伝説10

その9 愛に溢れた男
(行き過ぎと批判されることもある動物愛護などの活動)

ポールの愛は音楽愛、家族やファンに対する人への愛情ばかりではない。愛犬をタイトルにした歌「マーサ・マイ・ディア」や「ジェット」があるように、動物愛にもあふれている。飼っている羊が愛し合う姿(新曲 'Happy With You' の詞にも歌われる)を見たことがきっかけになってはじめたベジタリアン運動や、実験や虐待から動物を保護する団体PETAへの支援まで様々だが、時に過激すぎると非難されることもある。自身のコンサートの前に動物虐待する人間の愚かさを映し出した過激な映像を流したり、カンガルー狩りを反対するあまり、自分の所有する土地に移住させるなど、動物への愛も半端ないのだ。

その10 コンサート動員数記録

3時間近くに及ぶコンサート。楽器を全曲で弾き、休まず歌うという前人未到なパフォーマンスが話題になりがちだが、その記録的な動員数から、世界の人々がいかにポールの音楽を求めているのかが分かる。1990年のリオデジャネイロ公演では18万人以上を集め、有料コンサートの観客動員数の最高記録を樹立、東京ドーム公演を始めとする日本公演はいつもソールドアウト満員御礼だ。今年は新作『エジプト・ステーション』を提げたフレッシュン・アップ・ツアーで来日が報じられたばかり。

ポール・マッカートニー フレッシュン・アップ ジャパン・ツアー2018
10月31日(水)、11月1日(木)東京ドーム
11月8日(木)ナゴヤドーム ポール初の名古屋公演
公演公式サイト：http://freshenup-japantour.jp/

発行：ユニバーサル インターナショナル　https://www.universal-music.co.jp/paul-mccartney/　協力：ザ・ビートルズ・クラブ